常磐文藝

人間の詩

岸本哲雄

あらゆる醜さ
至上の僞瞞
凡ての所有を願ふ
おゝ人間！

×

雜音の中に住み
靜寂を思ふ……
灰色な淵に沈み
美の完きを裝ふ……
おゝ人間！

×

冷魂を抱擁し
熱魂を追ふ……
髑髏を操り
自由と叫ぶ……
おゝ人間！

×

おゝ人間！
人間……
人間……
醜美の兩極端を持して馳る
おゝ人間

—一九二四、五、一五—

高月會

青麥

麥濤十里点々白き小笠かな　松童
青麥や東西二里の移住村　牛城
オートバイの音幽か麥青き道　大北
瀛車一路麥の中行く平野哉　雪村
青麥や雲の影とぶ大野原　鷄山
見る限り青麥の先は丘の家　揚臺
五風十雨寸又寸の青き麥　夢吉
婿が要るなら此の村捜がせ麥青し　叟石

外科……泌尿科
皮膚病梅毒科
阿部醫院
入院隨意
平町字新川町
電話五六七番

新築開業
中の湯
平町南町（郡役所通り）

開設
御料理部
大村や
郡役所横丁

旅館
大村屋
平町二丁目
（電話一七五番）

醸造元
鹽屋本店
電話二七番

御設備下さい
文化生活の强敵なる
恐るべき蠅の撲滅の爲に
驚くべし一匹のハイは、百參拾萬の
細菌を保有して居るそうです
蚊とり兼用器
特賣の
ハイトリック
特價
金四圓五拾錢
平町五丁目（電話四九番、一三九番）
和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店

平町
組屋
吉田眼科醫院

六月特提
純毛セル　七圓五十錢ヨリ
着尺モスリン　五圓五十錢ヨリ
夏物珍柄澤山入荷
磐城平町　電　三丁目
中野吳服店
電話六十七番
振替東京三七一八番

株式賣買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇四	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	一二五	一〇五
磐城實銀	三〇〇	二九五
田村實銀	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同　新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同　新	一二五	一六〇
七七銀行	一二五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同　新	二五〇	一八〇
只見川電	一二五	七三
植田水電	一二五	一五五
好間水電	一二五	一四〇
磐城建物	二五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一二五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二三〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同　新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	六八〇
同　新	二五〇	三七〇
平運送	一二五	八〇

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候

東新株
先限實物
前場後場共入電致居候
平町田町　電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

常磐毎日新聞

六月十一日夕刊

定價　一部金貳錢　一月極ニ限リ　一ケ月卅錢
廣告　五號十二行　一行詰　一五十錢
休刊　祝日ノ翌日
日曜大祭日

發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地
發行所　常磐毎日新聞社
福島縣石城郡平町田町卅六番地
印刷所　一〇活版所

加藤內閣へ要望

熟柿は遂に加藤子の頭上に落ちた加藤氏を總裁とする憲政會は政友會內閣以來十年といふものは多少黨內に小波瀾を起したが大體に於て眞面目であつたと言ひ得るのである、この報ひが來たか選擧に第一黨をかち得而して組織の大命が加藤子に降下さるゝに至つたと云ふ事は護憲三派の結束鞏固の結果とはいひながら苦節十年の正義をふんで今日に及んだ憲政會として然も黨首に大命が降下したのであるから誠に喜悅する所であらう從來數年間といふものは所謂憲政の逆轉たる超然內閣が出現し我が憲法政治に一大支障を來したのであつたが終に政黨者流の蹶起によりて漸く恢復するに至つたと云ふ事は所謂護憲の意味より考へ寔に喜ばしき現象ではあるが何時憲政破壞者が出現するや圖り知れぬから、さらに護憲を目標とする政黨は結束を鞏固にする事が肝要である、即ち勝つて兜の緒を締る事を忘れてはならぬと信ずる現下は對米對支對露、對佛といふ急速に解決を要する問題があり一方財政行政の整理緊縮を必要とする今日であつて如何なる勢力のある內閣が出現した所で今日の政治を充分に處理するは不可能であると思ふ殊に外交問題の如きは如何なる手腕者が出づるとも今日以上に手を延ばす事は一寸出來まいと思ふ然し內政方面に於ては徹底的に所信を斷行して所謂刻下の腐敗を一掃して貰はなければならぬそれには行政財政整理緊縮綱紀肅正等が緊要なる事であるが先づ國民が多年要望して居る普通選擧を即時に斷行し以て憲政有終の美を發揮する樣に努めて貰ひたいものである。（NY人）

栗原企業專務の奇怪至極な逃げ口上

今更ら責任回避は

一層町民の疑惑を增さしむ

本紙は曩に發電所不當許可問題に關し其眞相を確かめんが爲め平町青年團有志が電氣企業社に栗原專務を訪ねた際

兩者の 間に交はされた質問應答の大要を掲げ讀者諸彦の公平なる批判に訴へた、然るに昨夕の某紙に依つて見ると栗原專務は本紙の其記事が記者の聞き間違へに依つて成された嘘萬八で甚だ迷惑至極に存じて居ると云つた調子で凉しく納つて居る模樣だキット結局は斯ふ來る事であらうと思つたから

記者は 一人で訪ねなかつたのである、青年團の有志諸君が訪問すると聞いたので後見の爲めに言質を取るには絶好の機會と乘り出したのであるであるから本紙の報導が嘘か眞實かは當日同席の諸君が確實に證據立て得るものと確信する現に當日水利權の讓渡

問題等 に就いては本紙上に現れた記事以外更らに突き込んだ質問として阿部政右衛門氏から『既に磐城炭礦と賣買契約が締結されたとの確報があるんだが……』との追求に對し『イヤ其處迄は聞いて下さるな……』と嘆願的な言葉を栗原氏は洩した、而して微菌の聚落數が多くも町民の保健衛生に支障なき旨の放言に對しては

企業社 からの歸途流石に溫厚なる三森虎雄氏も『アノ一言に依つても會社側が私利を貪るに急にして三萬町民の保健衛生に關し甚だ冷淡である事が判明する』と怒つた程である、故に今になつて云つた云はぬ等と妙に責任を回避する如きは甚だ男らしからざる言動であつて一層町民の疑惑を增さしむる事となるのである

平町へ自働車隊行軍

世田ケ谷から

東京府下世田ケ谷自働車隊第一中隊長永田直武大佐外七十九名は仙臺方面に行軍の途中來る十三日午後四時頃平町着で一泊の上仙臺方面へ向つて出發する由

春繭安く蠶家振はず

何れも意氣消沈

石城地方の春繭は既報の如く蚕期中天候が良かつたので品質概して優良なるも現下の模樣は先行不安で買氣進まず賣手の方では想外の後下りに取引を澁るので市況甚だ活氣なく祝儀商内もあるべき筈の去九日の初取引は白繭最高七圓五十錢最低六圓八十錢黄繭は最高七圓最低六圓三十錢であつた繭の出盛りは上簇後俄の冷氣で二三日遲れて來る十四五日頃であらうが蠶家側は霜害の桑高から繭價の下落何れへ向いても意氣悄沈で

けふから梅雨季節に

東北の寒い風が吹いて

平年よりも五六度寒い

今年は一週間も前から陰鬱な天候を持續し冷氣さへ加はつたので梅雨季節に入つたのではないかと思はるゝ程であつたが愈々本日

梅雨に 入つてこれから暫らくは降りみ降らずみの鬱陶しさを覺えるであらう、小名濱測候所長は語る『數日前から七百六十二ミリ位の低氣壓が三陸地方から北海道東方の沖へかけて滯留し てゐるので小低氣壓はあちこちから來るけれども此高氣壓に支配されて東北の寒いかせが吹くこれは兩三日動かぬらしい斯る模樣で

敷日間 續かうと思ふ溫度は平年六月上旬七十三度位であるが本年は六十八度位即ち五度も低い譯である絶對に無いといふのではないれれど今年旱魃が續いて乾燥に傾いて居つた折柄

此冷濕 になつたそれでも五度位に過ぎぬまだ此天候は續くらしい然し雨量は少く去る二日の七十ミリの外殆んど數ふるに足りるあると

衛生區長新任

平町北目胡摩澤高月臺方面の十五區衛生區長は從來缺員中の處八日午後六時より木村ヒデ方に於て開會して花澤兎五六氏當選したと

カテイラン

梅の燒酎漬

豊後梅のきずのない、熟し切らぬ上等の物を、丁寧に洗ひ、水をよくきり梅一升、砂糖一斤、燒酎一升(酒一升でもよい)の割にして壜又はかめに入れしつかり目張りをしておきます。一ヶ月もすぎますれば喰べられます、歯切りのよいぶんとかほる所などは下戸にも上戸にもむきます。同時によい梅酒が出來ます、これを半年位日光の輝らない所へたくわいておいて、毎日少しづゝ頂くとせんそくの藥にもなるそうです

糠味噌にとうがらし

糠味噌の中にとうがらしを入れる事は大そうよいことです、これは夏季小さな蟲のわくのを防ぐことが出來ると同時に味もよくなるのであります、又小量の芥子粉を用ゐることもよいことです、然しいくら手當をしても鹽や糠を度々加へると同時に充分かきまぜておかぬとよくありません、スッパクなるのは手入れが惡るいからです

□□□□アイサツ

愈々明日から病床を離れて對外的な活動を開始し發電所不當許可問題其他本紙獨特の記事を滿載して紙面の緊張を圖り充分讀者諸彦の御厚志に酬ゆる覺悟ですから一層御聲援を願ひ上げます　(川崎生)

夏秋蚕桑園は疑問視

桑樹の枝條案外伸びず

郡下の養蠶家は霜害によつて蒙つた損失を夏秋蠶で取返さうとして郡でも

奬勵し 當業者も意氣込んで居るが霜害後に於ける天候は意外に不順で霜害を被つた桑樹の枝條は案外伸びず夏秋蠶桑園として果して間に遂ふか否かは疑問視されて居りこの際蠶種家でも

夏秋蚕 を當込んで盛んに夏秋蚕種を製造しつゝあるが過剩を生ずるは明かでこの分で進めば本縣養蠶家は遂に救はれず悲境のドン底に陥るだらうと者なく數日間續くとしても全國至て靜穩である』云々

十三日會講演

平町十三日會にては十三日午後七時より平銀行樓上に於て開會磐城高等女學校長櫻井賢文氏の支那朝鮮視察談平青年團副團長綠川喜三郎氏廢娼の可否に付いて等の講演ある由

法を尊重せぬ兼業者には嚴裁を

風紀取締の爲めと

伊藤平署長語る

平町の旅館業者は六月一日から施行された縣令規則により料理屋兼業をする者は十四五名であるがそれに關し伊藤平署長は語る『外形的な建物の構造からみると立派な資格を備へたものは殆んどないしかし各營業者が法の精神を尊重して吳れるならばよいといふ意見から兼業資格の認定に關しては極めて寛大な處置をとつたが昨今調査すると法の精神と私の精神とをくんで吳れず殆んど公然の如く宿屋料理店混合で藝妓を出入せしめ風紀を亂してゐるものがある事を知つた、かうなると本官は取締上寛大な自由裁量から一變して嚴格な所置に出ねばならぬ、かうなれば兼業者も困るだらうし地方の利便繁榮の上にも影響のある事と思ふから營業者はあくまで眞面目になつてほしい』

皐月と……鱒の漁

上遠野の大瀧

石城郡上遠野村大字瀧の鮫川上流の大瀧は六月皐月とマヌの漁を以て有名である が本年は時候不調にして川の水溫寒冷の爲めその魚も甚だ少くして最近少しづゝの捕魚があるも何れも三百匁内外のものにて百匁四十八錢の相場であると

白井博之氏農銀頭取に

就任決定した

磐城銀行頭取白井博之氏は、十日福島市に開かれたる本縣農工銀行重役會に於て同行頭取に推薦就任されたるに依り磐城銀行は元より磐城建物會社磐城製氷會社の等氏の關係ある會社銀行では十三日十四日に互り重役會を開き白井氏の後任に付き詮衡會を開く筈

光影會主催寫眞展覽會

平陽校にて

平町に於けるカメラ同好者より成る第十三回光影會は來月十二三兩日に互り田町平陽女學校に於て開催するが出品締切は七月十日で印畫は密封の上平町二丁目西村屋藥舗及び田町平和堂宛送付すべしと因に畫題及大きさ隨意にして審査員は中島雅園、白土喜伯、鈴木箭山の三氏であると

平町農會にて土壤の試驗

耕地は八分に分け

平町農會にては耕地の土壤試驗を爲さんが爲め耕地を八ヶ所に分ち一ヶ所に對して貳圓宛の補助を與へる筈であるが試驗の結果は土壤を改良する爲め肥料を選み其他適當なる所置方法講するものである